



躰は押しつけから始まる 躰で身を美しくしましょう

江戸時代の商人の子育ての考え方

“三つ心、六つ躰、九つ言葉、十二文、十五理で末決まる”

<解説>

三つ心 (みっつこころ) とは、3 歳までに子供たちの人格 (心) は決まってしまうから十分に愛情を注いで、人に思いやりのある子に育てなさい。

六つ躰 (むっつしつけ) とは、6 歳までに挨拶の仕方や箸の持ち方から始まって身だしなみ等の躰を済ませておきなさい。

九つ言葉 (ここのつことば) とは、9 歳までにどんな人にも失礼でない言葉遣いができるようにしておきなさい。

十二文 (じゅうにふみ) とは、12 歳までに文字を使えるようにしておきなさい。

※今皆さんが学んでいる簿記の仕事も、このころから任せられていたところもあったようです。

十五理 (じゅうごことわり) とは、15 歳までに世の中の仕組みや意味などを理解しておきなさい。

これは江戸時代に子育ての基本となった考え方です。1 番目のポイントは、心・躰・言葉・文・理の順序で育てていくということ。まずは自分の心身から躰を受け、それから学力をつけ、社会に出ていく順序です。江戸時代の商人はまず自分の子供に心や身を美しくするしつけから始めています。2 番目のポイントは、幼い子供は無知のため自分で考えて行動することができません。そのため、親が社会に出るために必要なことを押しつけることから始めています。もちろん、押しつけられるばかりでは自立できませんから自立できるように、徐々に自分の身になっていくよう吸収していくのです。

今とは時代の違いもあり、現代の教育にあてはまらない部分もあるかもしれませんが、江戸時代の教育から学ぶべきことは多くあります。みなさんも日頃から教員や保護者から気に入らないことを言われることがあるかも知れませんが、これも大半がしつけであろうと思われます。言われる側もつらいでしょうが、実はしつけをする側もそれ以上につらく苦しいのです。その裏側には愛情があることをみなさんには知っておいて欲しいと思います。

1 学期前半を振り返ろう

1 学期も後半です。1 年生ならば「そろそろ学校にも慣れましたか？」という言葉でしょうが、2 年生には「学校に慣れ過ぎてませんか？」と問いかけます。学校生活に適度の緊張感が必要です。4 月・5 月の欠席と遅刻のデータを掲載しておきます。これは個人の意識の問題かもしれませんが“チーム 2 年生”の問題として、みんなでこの数を減らしていきませんか。また、新たな友人を作り、交友関係を広げていきましょう。



欠席遅刻状況 (昨年との比較)

	欠 席		遅 刻		35分遅刻	
	H30	R1	H30	R1	H30	R1
4 月	6	36	3	8	1	7
5 月 (30 日現在)	20	65	8	24	3	8

1 学期中間考査の成績について (特に、学習。)

今回、2 年生で初めての考査では、成績不振点 (いわゆる素点 30 点未満) の生徒が、続出しました。一般的に、2 年生は中だるみ傾向になりがちですが、それではいけません。

また、安易に定期考査を欠席してはいけません。正当な理由がない場合、0 点になります。体調を整え、課題の取組も含め、勉強をして臨みましょう!

コースでの授業が始まり、普通科目・商業科目の専門性も増えています。6 月はいよいよ 1 級の検定にチャレンジします。ここで、今一度、気を引き締めて、自分を奮い立たせましょう。

<学習時間の比較>

	R1	5/9~5/20 平均	昨年同時期
2 年平均学習時間	↓	123.4 分	144.9 分 (現 3 年生) 171.7 分 (1 年次)

6 月の学校行事

1	土		16	日	全商珠算電卓実務検定	
2	日		17	月	簿記補習	
3	月	ビジネス計算 解説 (7:50~8:20)	18	火		
4	火		卓	19	水	弁論大会
5	水	卒業生の声を聞く会	補	20	木	
6	木	球技大会	習	21	金	
7	金	服装頭髪検査 (予定)		22	土	
8	土	商業実務競技大会		23	日	全商簿記実務検定
9	日	日商簿記検定		24	月	
10	月	計測 朝 (7:50~8:20) + 放課後 (15:50~16:30)	電	25	火	期末考査発表
11	火		卓	26	水	
12	水		補	27	木	
13	木		習	28	金	
14	金	耳鼻科検診 (該当者)	↓	29	土	
15	土			30	日	全商ビジネス文書検定